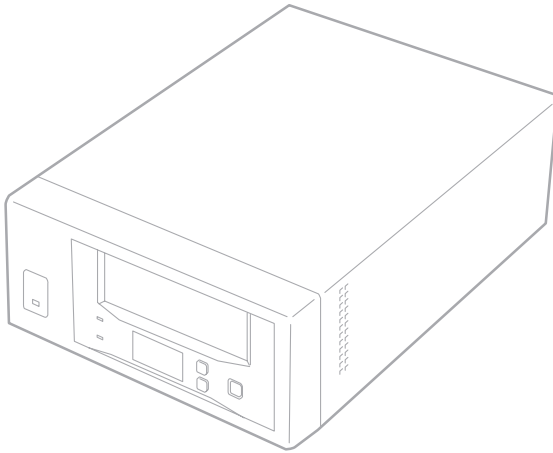


N8560-17 外付AIT集合型

取扱説明書





- 本製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書は、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。
- 「安全にかかわる表示について」にある説明を読んだ後、「使用上のご注意」を必ずお読みください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作してください。

本書には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号(シグナルマーク)を使って表しています。それぞれの記号は次ページのような意味を持つものとして定義されています。







シグナルマークのご説明



このシグナルマークは社団法人日本電子工業振興協会で定められた警告表示です。このシグナルマークは本製品をご使用していただく際に特にご注意ください内容を説明していますので製品使用前に必ずお読みください。

シグナルマークで指示された内容については必ずお守りください。

指示を無視した取り扱いを行うと、警告表示された危険が発生します。


	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

本書で使用している記号とその内容について次に示します。



注意の喚起

	指示を守らないと、感電のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、発煙または発火のおそれがあることを示します。
---	----------------------------	---	---------------------------------

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		指示に従った操作をしてください。指示を守らないと、火災や感電のおそれがあります。
---	--	---	--

商標について

Microsoftとそのロゴおよび、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Advanced Intelligent Tapeはソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NT 4.0はMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもので、実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、N8560-17 外付AIT集合型をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

N8560-17 外付AIT集合型は、NECのExpress5800シリーズ(サーバ/ワークステーション)をはじめとする「基本処理装置」で使用できる外付けタイプのデータカートリッジドライブです。

AIT(Advanced Intelligent Tape)カートリッジに対応した高速ドライブには、4本のAITデータカートリッジを搭載することができ、お客様の大切なデータのバックアップ、運用、管理をよりスムーズにすることでしょう。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解いただけるようお願い申し上げます。

本書について

本書は、N8560-17 外付AIT集合型を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。外付AIT集合型のセットアップを行う場合や日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときにご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、外付AIT集合型を安全に、正しくお使いになるための事柄(セットアップや日常の取り扱いおよび保守)と外付AITで利用できるカートリッジ[AITデータカートリッジ]を正しくお使いになるための事柄(取り扱い方法や保管方法)の2つの章から構成されています。

はじめて取り扱うときの読み方




本製品を梱包箱から取り出して、はじめて取り扱うときは次の順序で本書を参照して、セットアップをしてください。

1. 箱の中身を確認する 箱の中身について(→viiiページ)
2. 取り扱う上での注意事項を覚える 使用上のご注意(→1ページ)
3. 外付AIT集合型の部品の名前を覚える 各部の名称と機能(→9～10ページ)
4. 取り付け前の設定をする セットアップ(→11ページ)
5. 外付AIT集合型を設置する セットアップ(→12ページ)
6. 基本処理装置に接続する セットアップ(→13ページ)
7. カートリッジの取り扱い方法を覚える AITデータカートリッジ(EF-2420)について(→29ページ)
8. カートリッジをセットする 取り扱い(→14ページ)
9. 液晶ディスプレイやランプの表示を確認する 液晶ディスプレイ(→22ページ)
ランプ表示(→23ページ)
10. 外付AIT集合型の設定を変更する 設定の変更(→24～26ページ)
11. 外付AIT集合型をクリーニングする クリーニング(→27ページ)

データの保存のしかたやデータの保存形式などの設定については、バックアップアプリケーションに添付の説明書を参照してください。

本文中の記号について

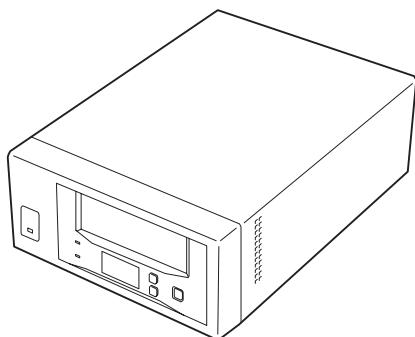
本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します(安全にかかわる表示については巻頭をご覧ください)。

 重要	装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置を取り扱う上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

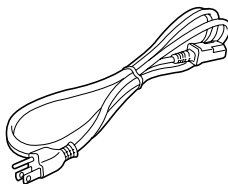
箱の中身について

N8560-17 外付AIT集合型の梱包箱の中には、外付AIT集合型本体以外にいろいろな付属品が入っています。下図を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

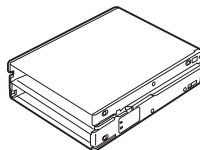
N8560-17 外付AIT集合型



電源コード



マガジン



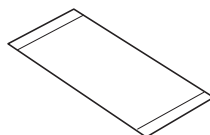
ターミネータ



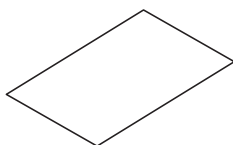
クリーニングカートリッジ



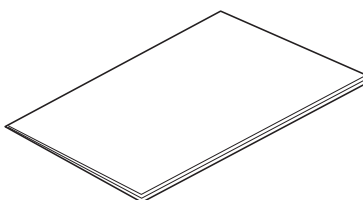
保証書



AIT装置 取り扱いについて



取扱説明書(本書)



重要

- 梱包箱や箱の中に入っていた固定用部材は、本装置を取り外して輸送する際に必要となります。大切に保管しておいてください。
- 添付の保証書はアフターサービスを受けるときに必要となります。大切に保管しておいてください。

目次

安全にかかわる表示について	ii
はじめに	v
本書について	vi
はじめて取り扱うときの読み方	vi
本文中の記号について	vii
箱の中身について	viii

使用上のご注意

～必ずお読みください～

安全上のご注意	1
正しく動作させるために	5
本体について	5
マガジンについて	6
その他	8
第三者への譲渡について	8
消耗品・装置の廃棄について	8
保証について	8

外付AIT集合型について

各部の名称と機能	9
装置前面	9
装置側面	10
装置背面	10
マガジン	10
セットアップ	11
外付AITの設定 ～SCSI IDの設定～	11
外付AIT集合の設定 ～その他の設定～	12
外付AIT集合の設置	12
接 続	13
取り扱い	14
電源のON/OFF	14
AITデータカートリッジのセット	14
AITデータカートリッジの取り出し	17
マガジンのセット	19
AITカートリッジの選択	20
マガジンの取り出し	21
データのリード/ライト	22
液晶ディスプレイ	22
ランプ表示	23

(次ページに続く)

外付AIT集合型について (続き)

設定の変更	24
メニュー画面への切替方法と操作方法	24
Version ～設定状態の表示～	25
Contrast ～明るさの調整～	25
Orientation ～表示の向きの設定～	25
Language ～表示言語の設定～	26
クリーニング	27
リード/ライトヘッドのクリーニング	27
本体のクリーニング	28

AITデータカートリッジ (EF-2420)について

データカートリッジの各部の名称	29
使用・保管・運搬条件	30
ラベル	30
ラベル貼り付け位置	30
ラベルへの記入上の注意事項	31
ライトプロテクト	31
取り扱い上の注意事項	32
使用上のご注意	32
一般的注意事項	32
使用禁止基準	33
寿命	33
重要なデータの保存について	34
データの3世代管理について	34
仕 様	35
エラーメッセージ一覧	36
運用状況お客様記入シート	37

使用上のご注意

～必ずお読みください～

外付AIT集合型を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全上のご注意

外付AIT集合型を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

重要

ここで示す注意事項に加えて、本装置を接続する装置に添付の説明書も参照してください。説明書では、本装置を含むオプションの接続や取り付け、取り外しの際の注意事項などが記載されています。



■ 分解・改造をしない

本装置の分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電のおそれがあります。(本体天面に分解禁止ラベルが貼られています。ラベルに記載されている内容もお読みください。また、ラベルが判読できない場合には、お買い求めの販売店、またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。)



■ ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



■ 煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



■ 破損したまま使用しない

本装置が破損した場合は、ただちに本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



■ 針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジの挿入口などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



■ コネクタなどの端子間をショートさせない

火災や感電の原因となります。



■ 海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



■ 指定以外の装置に取り付けて使用しない

指定以外の装置に取り付けて使用すると、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



■ ほこり・湿気の多い場所に設置しない

本装置をほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の高い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



■ 日の当たるところに設置しない

本装置を窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、本装置が正常に動作しないばかりか、火災の原因となるおそれがあります。



■ 不安定な場所に置かない

本装置を不安定な場所に置かないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、装置が転倒してけがや周囲の破損の原因となることがあります。



■ ファンや通風口をふさがない

本装置の背面にあるファンや側面にある通風口をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

注意



■ 指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。



■ 指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。



■ たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



■ 中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



■ コードを持って引き抜かない

電源コードや接続ケーブルの抜き差しはプラグやコネクタを持って行ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。



■ 電源コードを折り曲げない

電源コードを無理に曲げたりねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブラ等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。



■ 損傷したコードを使わない

損傷部分を補修してお使いになることはおやめください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災の原因となります。損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。

注意



■ 電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



■ 装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。



■ 巻き込み注意

本装置の動作中は背面にあるファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



■ プラグを抜かずに手入れをしない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。コンセントを差し込んだままクリーニングなどのお手入れをすると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



■ 雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



■ ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



■ 装置を立てて使わない

本装置を立てて使用しないでください。倒れてけがをするおそれがあります。

正しく動作させるために

本装置を正しく動作させるために、次の点について注意してください。
AITデータカートリッジの取り扱いに関する注意事項については、「AITデータカートリッジ」の章を参照してください。

本体について

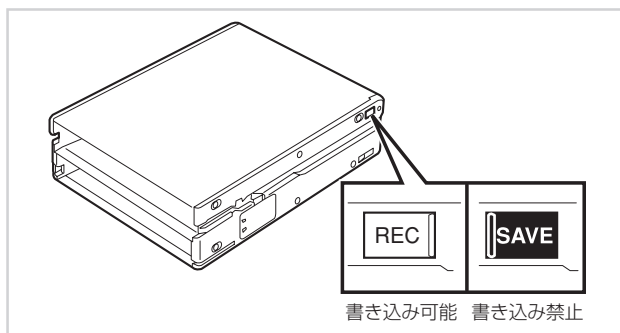
- 「セットアップ」の「設置場所について」に示す場所に本装置を設置してください。
→ 指定以外の場所に設置して使用すると故障の原因となります。
- 本装置の上にものを置いた状態で使用したり、保管したりしないでください。
→ 故障の原因となります。
- 本装置のSCSI IDとその他のSCSI機器のSCSI IDが重複しないように設定してください。
→ 誤動作の原因となります。
- 本装置がSCSI接続の再終端になる場合には、添付のターミネータを本装置のSCSIコネクタに取り付けてください。
→ 誤動作の原因となります。
- 本装置の電源がONのまま、ケーブルを取り付けたり、取り外したりしないでください。
→ 故障の原因となります。
- マガジンを本装置にセットする前にAITカートリッジがマガジンに4巻セットされていることを確認してください。
→ 3巻以下で本装置にセットすると故障、およびバックアップデータの破損の原因となる場合があります。
- 本装置前面にあるBUSYランプが点灯、または点滅しているときに電源をOFFにしないでください。
→ 故障、およびバックアップデータの破損の原因となります。
- 本装置の近くで携帯電話やPHSを使用しないでください。
→ 故障の原因となります。
- 本装置にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ (型番: EF-2420)」を使用してください。
→ 当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード/ライトエラーを起こすことがあります。

- **本装置のクリーニングには、当社製の「AITクリーニングカートリッジ(型番: EF-3237J)」を使用してください。**
→ 当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。
- **カートリッジ、マガジンを入れたままでの移動はやめてください。**
→ 衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める原因となります。
- **電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。**
→ カートリッジを入れたままで電源を入れるとカートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。集合AITをお使いのお客様は、マガジンを取り出すかカートリッジをドライブからマガジンに戻した状態で電源を切ってください。
- **カートリッジ、マガジンが本装置の挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。**
→ カートリッジの寿命が短くなったり、本装置の故障の原因となるおそれがあります。

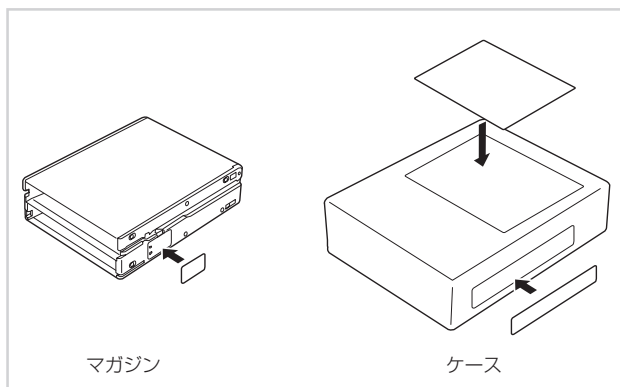
マガジンについて

- **マガジンの挿入口からカートリッジが飛び出している状態でマガジンを本装置に挿入しないでください。**
→ 故障や誤動作の原因となります。
- **マガジンをホコリやチリの多い場所、直射日光の当たる場所、湿気の多い場所に保管しないでください。**
→ マガジンにセットしたデータカートリッジ内のデータを破壊するおそれがあります。
- **マガジンを急激に温度が変化する場所に保管しないでください。**
→ マガジンにセットしたデータカートリッジ内のデータを破壊するおそれがあります。
- **マガジンを強い振動の発生する場所に保管しないでください。**
→ マガジンの破損およびマガジンにセットしたデータカートリッジ内のデータを破壊するおそれがあります。
- **マガジンを腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所に保管しないでください。**
→ 部品が変形したり傷んだりして正常に動作しなくなるおそれがあります。また、マガジンにセットしたデータカートリッジ内のデータを破壊するおそれがあります。

- マガジンは専用のケースに入れて保管してください。
→ マガジンを破壊するおそれがあります。
- マガジンの上にもものを置いた状態で保管しないでください。
→ マガジンにセットしたデータカートリッジ内のデータを破壊するおそれがあります。
- マガジンのライトプロテクトプラグは不要なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要のないデータカートリッジをセットしているマガジンは、書き込みができない状態にしておいてください。



- マガジンのセットしているデータカートリッジの中身を認識できるようにするために、マガジンやマガジンを保管するケースにラベルを貼っておくことをお勧めします。



- マガジンは、本装置専用のもの(型番: EF-3244E)をお使いください。
→ 当社製以外のマガジンを使用するとリード/ライトエラーを起こすばかりでなく、データの破壊や本装置、マガジンの故障の原因となることがあります。

その他

第三者への譲渡について

本装置を第三者へ譲渡(または売却)される場合には、本書を一緒にお渡しください。

消耗品・装置の廃棄について

本装置、およびカートリッジの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたはNECの保守サービス会社に連絡してください。

重要

NEC製以外(サードパーティ)またはNECが認定していない装置またはインタフェースケーブルを使用したために起きた故障については、当社NECの保証が受けられないことがあります。

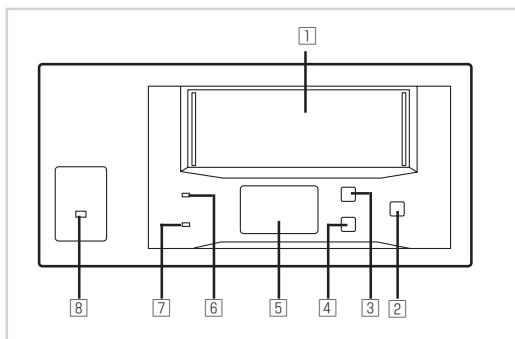
外付AIT集合型について

本装置のセットアップから取り付け、日常の取り扱い方法について説明します。

各部の名称と機能

本装置、およびマガジンの各部の名称と機能について説明します。

装置前面



① マガジン挿入口

マガジンをセットするスロット(→19ページ)。

② EJECTボタン

マガジンを本装置から取り出すときに押す(→21ページ)。

③ SELECTボタン

マガジンに搭載されている4巻のAITデータカートリッジの中からどのAITデータカートリッジを使用するかを選択するときに押す(→20ページ)。

液晶ディスプレイを使ったメニューを操作するときにも使用する(→24ページ)。

④ ENTERボタン

SELECTボタンで選択したAITデータカートリッジを本装置内のリード/ライトドライブにセットするときを押す(→20ページ)。

液晶ディスプレイを使ったメニューを操作するときにも使用する(→24ページ)。

⑤ 液晶ディスプレイ

本装置や搭載しているAITデータカートリッジの状態を示すインジケータ(→22ページ)。

本装置にエラーが起きたときはエラーメッセージを表示する(→36ページ)。

液晶ディスプレイを使ったメニューを操作するときにも使用する(→24ページ)。

⑥ BUSYランプ

データの通信状態を示すインジケータ(→23ページ)。

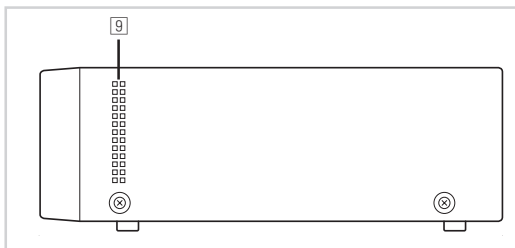
⑦ TAPEランプ

AITデータカートリッジの状態を示すインジケータ(→23ページ)。

⑧ POWERランプ

本装置の電源の状態を示すインジケータ(→23ページ)。

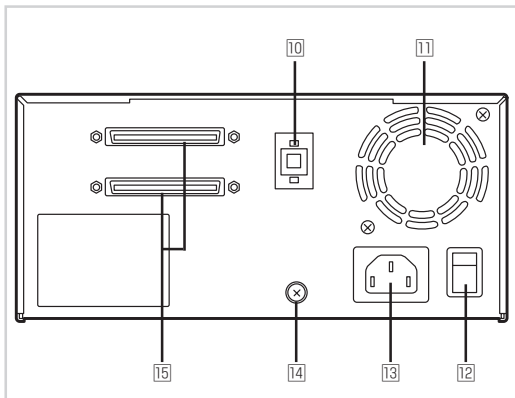
装置側面



9 通風口

反対側にもあります。

装置背面



10 ロータリスイッチ

SCSI IDを設定するスイッチ(→11ページ)。

11 ファン

12 POWERスイッチ

本装置の電源をON/OFFするスイッチ(→14ページ)。

13 電源コネクタ

添付の電源コードを接続する(→13ページ)。

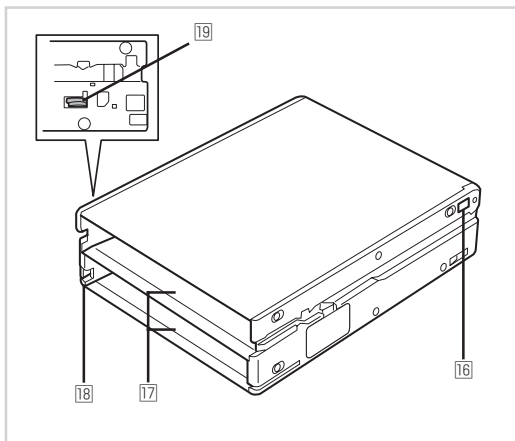
14 アース端子

他の機器のアース端子に接続する。

15 Wide SCSIコネクタ

Wide SCSIケーブル、または添付のターミネータを接続するコネクタ(→13ページ)。

マガジン



16 ライトプロテクトプラグ

セットしたAITデータカートリッジへの書き込みを禁止/許可するスイッチ(→7ページ)。

17 データカートリッジ挿入口

AITデータカートリッジを挿入するスロット(→15ページ)。

18 リリーススイッチ

AITデータカートリッジを取り出すときに押すスイッチ(→17ページ)。

19 セーフティロック

AITデータカートリッジが正しくセットされていない状態のマガジンを本装置に挿入させないようにするためのフック。(→16ページ)。

セットアップ

本装置をExpress5800シリーズ装置などの「基本処理装置」に接続するまでの手順を説明します。

外付AITの設定 ～SCSI IDの設定～

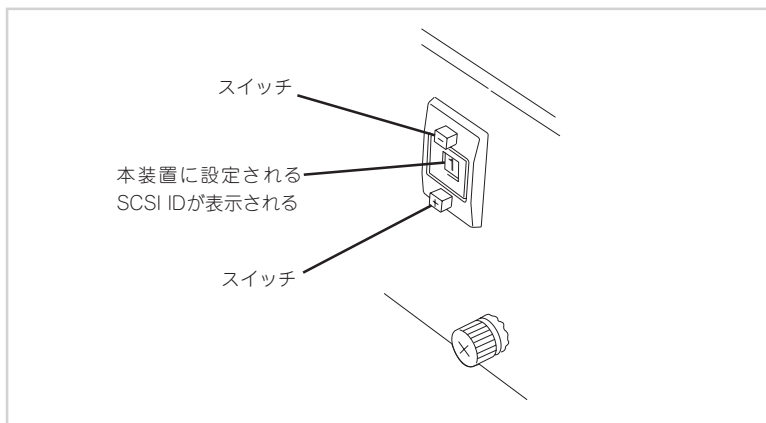
本装置の背面にあるスイッチで本装置のSCSI IDを設定します。

重要

SCSI IDの設定は、本装置の電源をOFFの状態にしてから行ってください。電源がONの状態を設定を変えると誤動作や故障の原因となります。

工場出荷時は、「0」に設定されています。設定したいSCSI IDが表示されるまで繰り返し、スイッチを押してください。SCSI IDを示す番号は16進数で表されています。10から15まではそれぞれAからFで表されています。

通常、「7」はホストアダプタに割り当てられています。「7」以外の値を設定します。



チェック

他のSCSI機器とSCSI IDが重複していないことを確認してください。

外付AIT集合の設定 ～その他の設定～

SCSI IDを除く本装置の内部設定は次のとおりです。これらの設定を変更することはできません。

- SCSIパリティ: Enable(有効)
- ターミネータパワー: ON(供給する)
- 終端抵抗: OFF(終端しない)



本装置で終端させるときは、添付のターミネータを使います。

外付AIT集合の設置

本装置を設置します。次に示すような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。

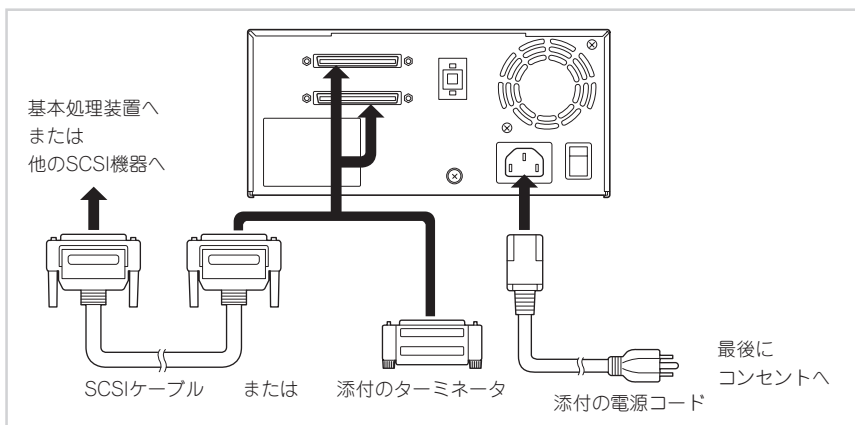
- 本装置を使用することができる温度／湿度の条件に合っていない場所(温度5℃～35℃、湿度20%～80%(結露なきこと))
- 電源コードまたはインタフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。
- 電源コードの接続に延長コードが必要となるような、コンセントから離れた場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)。
- 本装置側面の吸気口、および背面のファンをふさいでしまう場所。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 本装置の電源コードを接続するコンセントの接地線が他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共用している場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送／通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く。
- 本装置を縦置きにしないと設置できない場所。

接 続

本装置を基本処理装置、または他のSCSI機器に接続します。

本装置には、SCSIケーブルが添付されておりません。別途購入してください。本装置のSCSIコネクタは、68ピンハーフピッチのコネクタです。

接続はSCSIケーブル、ターミネータ、電源コードの順で行います。基本処理装置、およびその他のSCSI機器への接続については、それぞれの装置に添付の説明書を参照してください。また、基本処理装置によっては、外付けSCSI機器の接続台数を制限している場合があります。基本処理装置に添付の説明書を参照して確認してください。



✓ チェック

- 本装置、および基本処理装置や接続するその他のSCSI機器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- Wide SCSIケーブルのコネクタが確実に差し込まれていることを確認してください。また、コネクタにある固定ネジで確実に固定されていることを確認してください。
- 接続しているSCSIケーブルの全長が3m以内であることを確認してください。

🔑 重要

- 本装置がSCSI接続で終端になる場合には、もう一方のSCSIコネクタに添付のターミネータを取り付けてください。
- 本装置に接続する電源コードは、本装置に添付の電源コードを使ってください。
- SCSIバスの設定が基本処理装置側できる場合は、以下のように設定してください。

— 転送レート:	20Mバイト/秒(最大、同期)
— データバス幅:	16ビット(Wide SCSI)
— DISCONNECT/RECONNECT機能:	有効

詳しくは、基本処理装置に添付の説明書を参照してください。

取り扱い

本装置の取り扱い方法を説明します。

電源のON/OFF

電源をONにするときは本装置、基本処理装置の順で行ってください。

本装置は電源ON後、POWERランプが点灯します。その後、セルフチェックが始まり、STATUSランプとBUSYランプ、TAPEランプが点滅します。しばらくすると、点滅している3つのランプは消灯します。

3つのランプが消灯後、AITデータカートリッジをセットすることができます。

電源をOFFにするときは基本処理装置、本装置の順で行ってください。

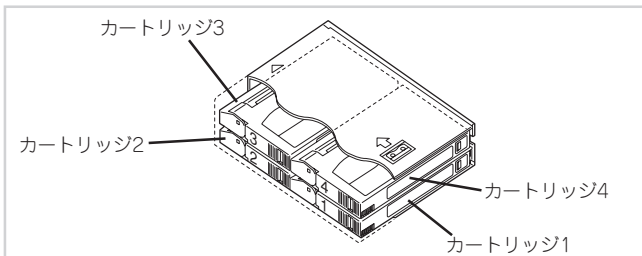


BUSYランプが点灯、または点滅している間は、本装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。

AITデータカートリッジのセット

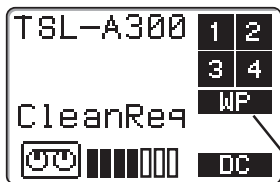


- 本装置にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ(型番: EF-2420)」を使用してください。当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード/ライトエラーを起こすことがあります。
- データカートリッジをセットしている間は、本装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。
- マガジンには必ずAITデータカートリッジを4巻セットしてください。3巻以下で本装置にセットすると、誤動作やデータの破壊の原因となる場合があります。
- マガジン内にセットされたAITデータカートリッジのカートリッジ番号は次のように決められています。セットする順番を間違えないように注意してください。

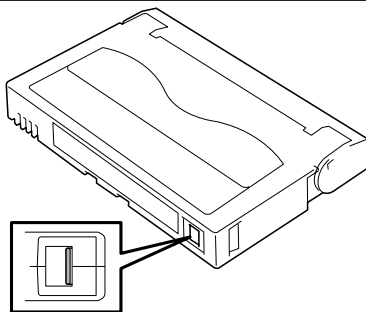


✓ **チェック**

AITデータカートリッジのライトプロテクトプラグでデータカートリッジにデータを書き込めないように設定している場合は、本装置にセット後、液晶ディスプレイのライトプロテクトインジケータ(**WP**)が点灯します。

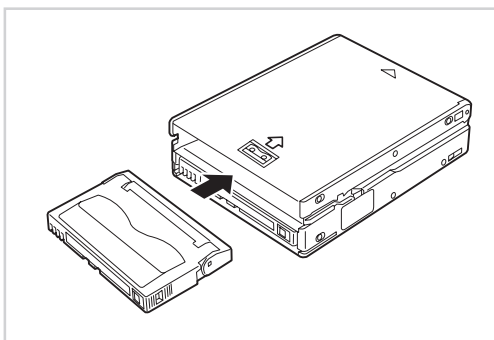
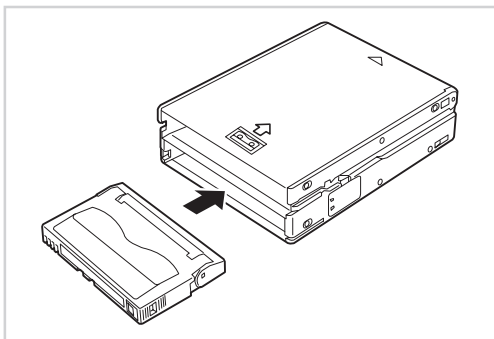


WPが点灯



ライトプロテクトプラグ(右にスライドさせると書き込み禁止になる)
(→33ページ)

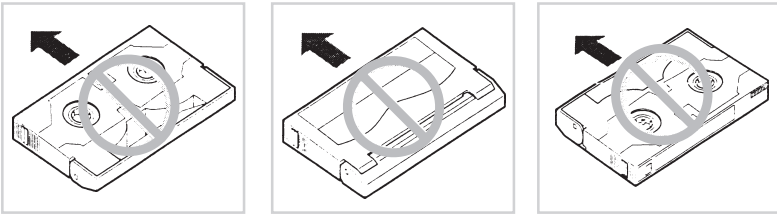
1. マガジンとカートリッジの挿入方向が右の図のようになっていることを確認する。
2. マガジンの下段にカートリッジ番号2、1の順にAITデータカートリッジを挿入する。
3. マガジンの上段にカートリッジ番号3、4の順にAITデータカートリッジを挿入する。



重要

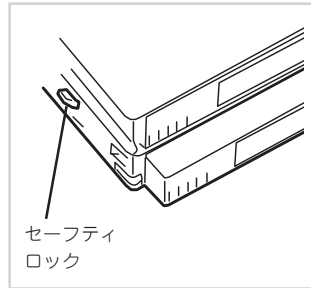
- AITデータカートリッジは正しい向きで挿入してください。

<悪い例>

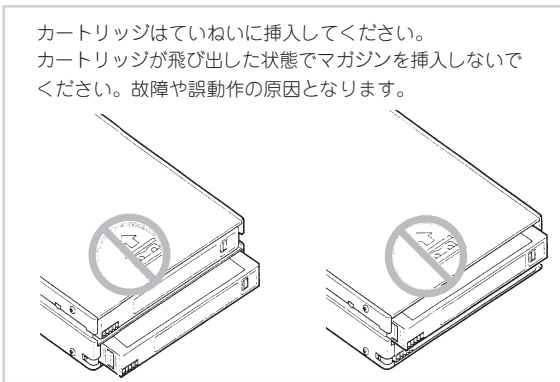


- AITデータカートリッジがマガジンに正しくセットされていない場合は、マガジン側面のセーフティロックが飛び出して、本装置に挿入できないような構造になっています。セーフティロックが飛び出していないことを確認してください。

また、セーフティロックが飛び出している状態のまま無理にマガジンを挿入しないでください。セーフティロックを破損するだけでなく、マガジンやその他の部品、AITデータカートリッジの破損の原因となります。



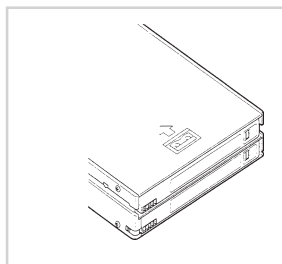
- マガジンの天面には次の注意表示が英語で記されています。



- AITデータカートリッジをセットしたマガジンをふりまわさないでください。

✓チェック

- 取り付け後、マガジンの挿入口を逆さにしてもAITデータカートリッジが落ちてこないことを確認してください。
- マガジンの挿入口からカートリッジが飛び出していないことを確認してください。



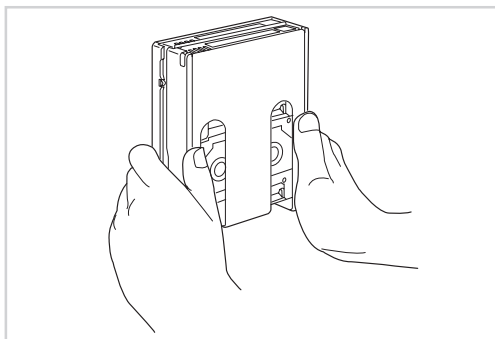
AITデータカートリッジの取り出し

マガジンにセットしたAITデータカートリッジは次の手順に従って取り出してください。

1. マガジンの底面を手前に向けて、立てるようにして持つ。

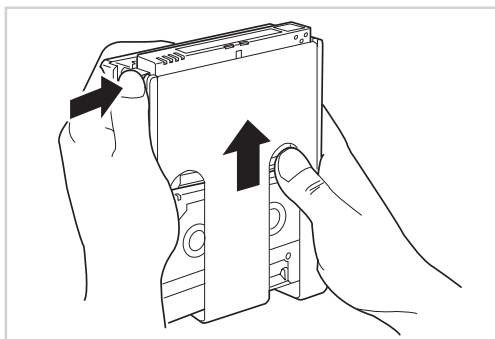
✓チェック

マガジンの挿入口を下に向けて取り出しをしないでください。AITデータカートリッジを落して破損するおそれがあります。

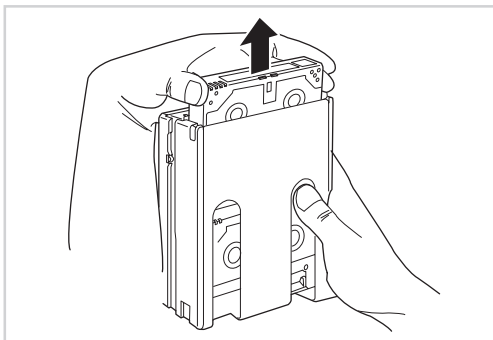


2. マガジンのリリーススイッチを押しながら、マガジンの溝に沿ってAITカートリッジを押し出す。

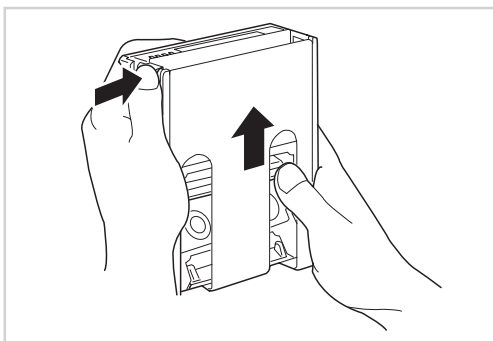
1巻目のAITデータカートリッジが挿入口から少し飛び出てきます。



3. AITカートリッジの両端を持って、マガジンから取り出す。



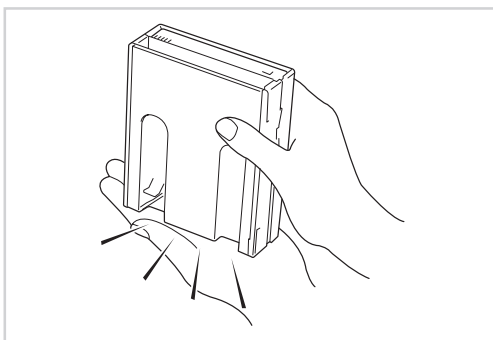
4. 手順2と同じ手順で2巻目と3巻目のAITカートリッジを押し出して、マガジンから取り出す。



5. マガジンの挿入口を上に向け、上下させて手のひらなどの柔らかいものに軽く当てる。

マガジン上段のAITデータカートリッジが下段に移動します。

6. 手順2と同じ手順で4巻目のAITカートリッジを押し出して、マガジンから取り出す。



マガジンのセット

AITデータカートリッジ4巻をセットしたマガジンを本装置にセットします。ある程度挿入するとデータカートリッジは自動的に本装置内部にセットされ、TAPEランプが点灯します。

重要

マガジンには必ずAITデータカートリッジを4巻セットしてください。3巻以下で本装置にセットすると、誤動作やデータの破壊の原因となる場合があります。

チェック

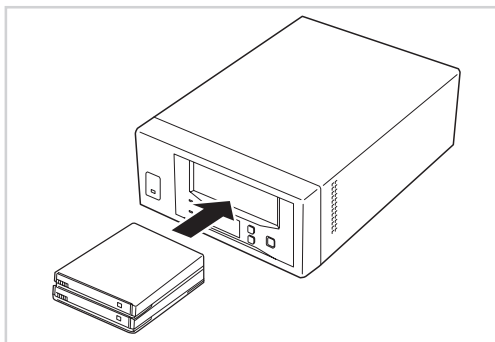
マガジンのライトプロテクトプラグでデータカートリッジにデータを書き込めないように設定している場合は、本装置にセット後、液晶ディスプレイのライトプロテクトインジケータ (WP) が点灯します。



1. 本装置の電源がONになっていることを確認する。
2. 本装置前面にあるBUSYランプとTAPEランプが消灯していることを確認する。
3. マガジンを右図の向きにして本装置のデータカートリッジ挿入口に挿入する。

ある程度挿入するとマガジンは自動的に本装置内部にセットされ、液晶ディスプレイに「Magazine Loading」と表示され、マガジン内のAITデータカートリッジのチェックが始まります。

液晶ディスプレイに「SCAN4 OK」と表示され、カートリッジ番号(「1」～「4」)がすべて点灯したら、セット完了です。



ヒント

- カートリッジのチェックはカートリッジ番号「1」～「4」の順番で行われます。
 - 液晶ディスプレイでは、チェック中のカートリッジの番号が点滅します。
-

3. バックアップアプリケーション、または本装置前面のボタンと液晶ディスプレイを使って、使用するAITデータカートリッジを選択し、本装置のリード/ライトドライブにセットする。

バックアップアプリケーションを使用する場合は、バックアップアプリケーションに添付の説明書を参照してください。本装置前面のボタンと液晶ディスプレイを使用する場合は、この後の「AITデータカートリッジの選択」を参照してください。

AITカートリッジの選択

マガジンにセットされているAITデータカートリッジは、基本処理装置のバックアップアプリケーションから選択できます。

また、本装置前面のSELECTボタンとENTERボタンを使って選択することもできます。次に選択の方法を示します。

チェック

- 本装置が次の状態の場合は、SELECTボタンを押しても何も機能しません。
 - － マガジンをセットしてから約75秒間。
 - － 液晶ディスプレイに「Ready」と表示されていない場合。
 - － BUSYランプが点滅している間。
 - 本装置のBUSYランプが点滅している間は、ENTERボタンを押しても何も機能しません。
-

1. SELECTボタンを押す。

液晶ディスプレイにAITデータカートリッジの番号が表示されます。SELECTボタンを押すたびに、カートリッジの番号が切り替わります。

2. 選択されたカートリッジの番号を確認してから、ENTERボタンを押す。

本装置内部のリード/ライトドライブにセットされていたAITデータカートリッジがマガジンに戻され、液晶ディスプレイで選択したAITデータカートリッジが自動的にリード/ライトドライブにセットされます。

マガジンの取り出し

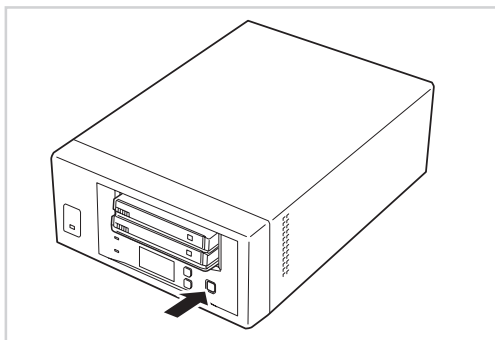
1. 本装置の電源がONになっていることを確認する。
2. BUSYランプが消灯していることを確認する。

重要

BUSYランプが点灯、または点滅している間は、本装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。

3. EJECTボタンを押す。

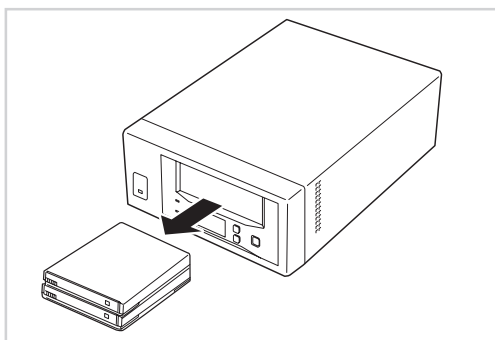
液晶ディスプレイに「Magazine Ejecting」と表示され、本装置内部のリード/ライトドライブにセットされていたAITデータカートリッジがマガジンに戻されてから自動的にマガジンが本装置から排出されます。



チェック

- EJECTボタンを押してからマガジンが本装置から排出されるまでに約2分ほどかかることがあります。
- 本装置のBUSYランプが点滅している間は、EJECTボタンを押しても何も動作しません。

4. マガジンをしっかりと持って、本装置から取り出す。

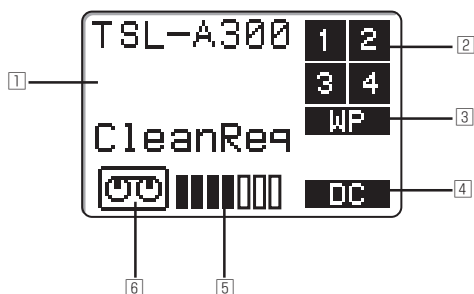


データのリード/ライト

AITデータカートリッジからのデータの読み込み(リード)、または書き込み(ライト)の方法や書き込むデータの圧縮方法については、バックアップアプリケーションに添付の説明書を参照してください。

液晶ディスプレイ

本装置前面にある液晶ディスプレイで本装置やAITデータカートリッジの状態を確認できます。



① メッセージエリア

本装置の状態を表示します。また、状況に応じて警告メッセージやエラーメッセージ(38ページ参照)が表示されます。

表示されるメッセージの言語を英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語のいずれかに変更することができます(26ページ参照)。

② カートリッジ番号インジケータ

マガジンにセットされているAITカートリッジの状態を表示します。カートリッジの交換中は、該当するカートリッジ番号が点滅します。マガジンから本装置内のリード/ライトドライブにカートリッジがセットされると、該当するカートリッジの番号が消灯します。カートリッジがマガジンに戻されると再び点灯します。

③ ライトプロテクトインジケータ

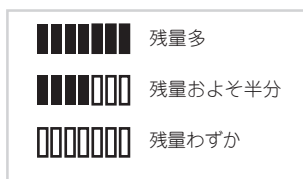
AITカートリッジ、またはマガジンが書き込み禁止になっているときに点灯します。書き込み禁止にするには、AITカートリッジ、またはマガジンのライトプロテクトタブを使います。

④ データ圧縮インジケータ

本装置がデータ圧縮機能を使うことができるとき、またはデータ圧縮モードで動作中のときに点灯します。

⑤ テープポジションインジケータ

リード/ライトドライブにセットされているAITデータカートリッジの残量の目安を表示します。



⑥ カートリッジインジケータ

AITカートリッジがリード/ライトドライブにセットされると点灯し、テープの走行状態を示します。

AITカートリッジがリード/ライトドライブから出し入れされている間は点滅します。

ランプ表示

本装置前面にある3つランプは本装置やAITデータカートリッジの状態を知らせます。

POWERランプ(緑色)

本装置の電源がONの間点灯します。

TAPEランプ(緑色)

AITカートリッジがリード/ライトドライブにセットされると点灯します。AITカートリッジがリード/ライトドライブから出し入れされている間は点滅します。

BUSYランプ(緑色)

SCSIインタフェースが有効になっているときに点灯します。リード/ライトドライブにセットされているAITカートリッジのデータの読み取り中や書き込み中、サーチやテープの巻き戻し中は点滅します。

設定の変更

本装置前面にある液晶ディスプレイの表示をメニュー画面に切り替えることで、本装置のさまざまな設定を変更することができます。また、本装置の内部プログラム(ファームウェア)のバージョンや設定しているSCSI IDなどの確認もできます。

SCSI ID番号の設定については、11ページを参照してください。終端抵抗は添付のターミネータを取り付けることで設定できます。

メニュー画面への切替方法と操作方法

次の手順でメニュー画面を表示させます。

ヒント

メニュー画面に切り替えるときは、本装置からマガジンを取り出しておくことをお勧めします。マガジンをセットされている場合は、液晶ディスプレイに「Ready」と表示されているときのみメニュー画面を表示させ、設定を変更したり、確認したりすることができます。ただし、「Language(言語)」の設定を変更するときは、マガジンを取り出しておく必要があります。

1. 基本処理装置の電源がONになっていることを確認する。
2. SELECTボタンを5秒間押し続ける。

液晶ディスプレイの表示がメニュー画面に切り替わります。

3. SELECTボタンを押して、目的の項目にカーソル(▶)を合わせる。
4. ENTERボタンを押す。

選択した項目のサブメニューが表示されます。

5. 設定を変更する。

▶ Version
Contrast
Orientation
Language

それぞれの画面での操作や機能については、この後の説明を参照してください。

ヒント

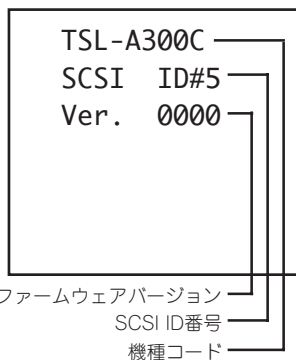
10秒間何もしないでいると、通常の画面に表示が戻ります。

Version ～設定状態の表示～

メニュー画面から「Version」を選択すると、右に示すサブメニューが表示されます。

この画面では、本装置の機種コード、設定しているSCSI ID番号、ファームウェアのバージョンが確認できます。

表示されている内容を確認後、EJECTボタンを押してください。メニュー画面に戻ります。



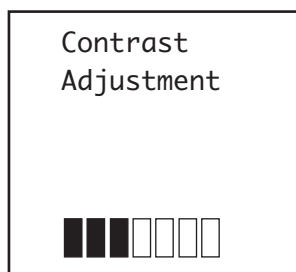
Contrast ～明るさの調整～

メニュー画面から「Contrast」を選択すると、右に示すサブメニューが表示されます。

この画面では、液晶ディスプレイの明るさ(コントラスト)を調整することができます。

SELECTボタンを押すたびにインジケータの黒色が増えていき、画面が明るくなります。7つのインジケータがすべて黒になった状態でもう一度押すと、すべて白に切り替わります(一番暗い設定に戻ります)。

調整後、EJECTボタンを押してください。現在の設定を記憶してからメニュー画面に戻ります。



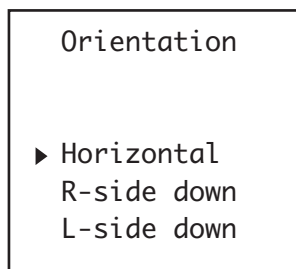
Orientation ～表示の向きの設定～

メニュー画面から「Orientation」を選択すると、右に示すサブメニューが表示されます。

この画面では、本装置の設置方向に合わせて液晶ディスプレイの表示方向を設定することができます。



本装置は「横置き専用」です。縦置きに設置して使用することはできません。「Horizontal」に設定してお使いになることをお勧めします。





メニュー画面で設定しているときは、常に本装置上面が上になる方向に表示されます。

SELECTボタンを押して、目的の項目にカーソル(▶)を合わせてください。選択を無効にしてメニュー画面に戻るには、EJECTボタンを押してください。

選択後、ENTERボタンを押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。表示方向はメニュー画面から通常の画面に切り替わったときに有効になります。

Language ~表示言語の設定~



「Language」の設定を変更する前にマガジンを本装置から取り出してください。マガジンがセットされているときは、「Language」の設定は変更できません。

メニュー画面から「Language」を選択すると、右に示すサブメニューが表示されます。この画面では、液晶ディスプレイに表示されるメッセージの言語を設定することができます。

言語は「English(英語)」、「French(フランス語)」、「German(ドイツ語)」、「Spanish(スペイン語)」の中から選択できます。SELECTボタンを押して、目的の言語にカーソル(▶)を合わせてください。選択を無効にしてメニュー画面に戻るには、EJECTボタンを押してください。

Orientation

- ▶ English
- French
- German
- Spanish

選択後、ENTERボタンを押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。



メニュー画面では、常に英語で表示されます。

クリーニング

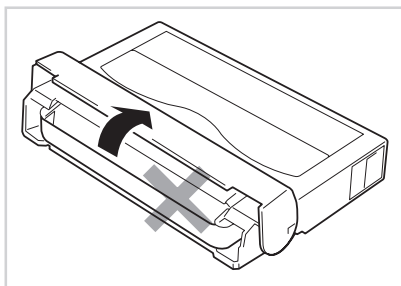
本装置を常にベストな状態に保つために、定期的にクリーニングをしてください。

リード/ライトヘッドのクリーニング

液晶ディスプレイのメッセージエリアに「CleanReq」というメッセージが表示されているときは、本装置内部のリード/ライトヘッドを清掃してください。

重要

- 本装置のクリーニングには、当社製の「AITクリーニングカートリッジ(型番: EF-3237J)」を使用してください。当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。
- クリーニングカートリッジのテープ面を手で触ったり、テープを巻き戻して使用したりしないでください。
- クリーニングカートリッジは約70回使用することができます。クリーニング中にSTATUSランプが点滅(等間隔)したときは、クリーニングカートリッジのテープが終わりまできたことを示します(クリーニングカートリッジを取り出して右側のリールにテープがすべて巻き取られていることもあわせて確認してください)。新しいクリーニングカートリッジを別途お買い求めください。



1. クリーニングカートリッジ(EF-3237J)を1巻、AITデータカートリッジを3巻マガジンにセットする。

「取り扱い」の「AITデータカートリッジのセット」で説明している手順で本装置にセットします。

2. マガジンを本装置にセットする。
3. SELECTボタンを押して、クリーニングカートリッジのカートリッジ番号を選択する。

20ページを参照して選択してください。

4. ENTERボタンを押す。

自動的にヘッドのクリーニングを開始します。クリーニングを終了すると、自動的にクリーニングカートリッジがマガジンに戻ります。

クリーニング時間はクリーニングカートリッジをマガジンにセットしている場所(カートリッジ番号)によって次のように異なります(カートリッジ番号については、14ページを参照してください)。

クリーニングカートリッジを セットしているカートリッジ番号	クリーニング時間
1	約60秒
2	約75秒
3	約90秒
4	約105秒

5. EJECTボタンを押す。

マガジンが排出されます。

6. クリーニングカートリッジをマガジンから取り出す。

—  ヒント —

リード/ライトヘッドの清掃は1週間に1回、使用する前にクリーニングカートリッジで清掃することをお勧めします(使用している環境(チリやホコリの発生状況)や使用回数によって異なりますが、一般的な事務室などで毎日使用する場合、1週間に1回の清掃を目安としてください)。

本体のクリーニング

本装置の外観が汚れたときは、やわらかい布に水または洗剤を含ませて軽く拭いてください。

マガジンの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

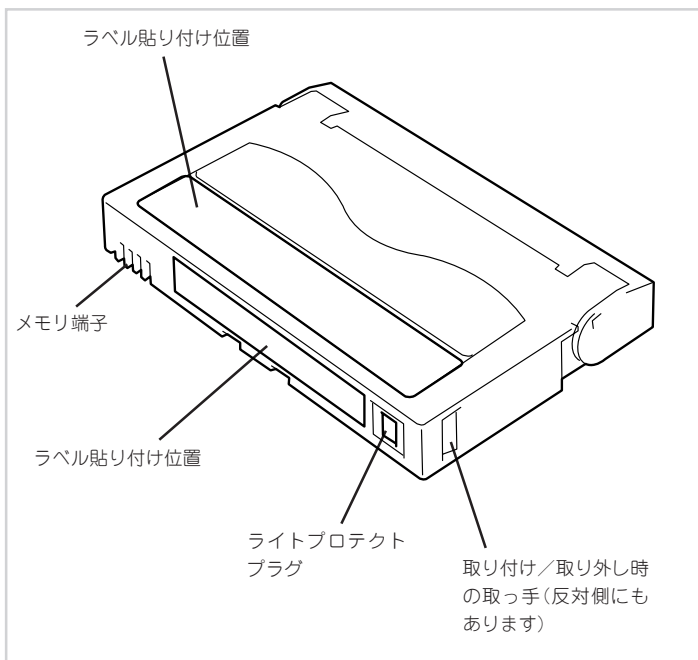
—  重要 —

ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)の薬品で拭くと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤をかけた場合も変形や変色の原因となることがあります。薬品が付着したら、はやめに水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

AITデータカートリッジ(EF-2420)について

AITデータカートリッジの取り扱い方法について説明します。

データカートリッジの各部の名称



使用・保管・運搬条件

■ 使用条件

温度 5～45℃

湿度 20～80% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

放置時間 使用および保管環境条件以外の環境にAITデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10℃/時間とします。

■ 保管条件

温度 5～32℃

湿度 20～60% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

保管状態 AITデータカートリッジは、保護ケースに入れて、フタをして保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

■ 運搬条件

温度 -40～45℃

湿度 20～80% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

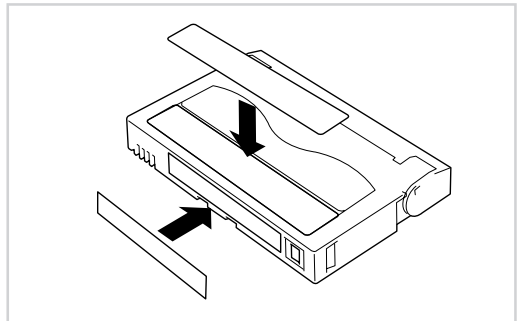
温度勾配 10℃/時間

運搬状態 AITデータカートリッジを保護ケースに収納してください。輸送の場合には、AITデータカートリッジに力加わらないように包装してください。

ラベル

どのAITデータカートリッジにどのデータをバックアップしているかなどがすぐわかるようにAITデータカートリッジにラベルを貼り付けておくことをお勧めします。

ラベル貼り付け位置



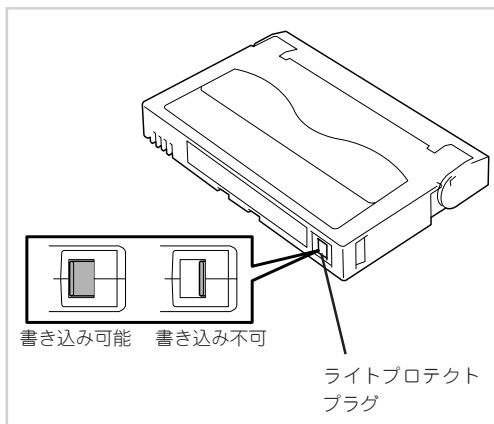
ラベルへの記入上の注意事項

- AITデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることができ、取り外した後に粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り替えてください(INDEXラベルはAITデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは、前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。
- 添付のINDEXラベルには、使用開始年月日を記入してください。AITデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右図のように設定すると、テープの内容が保護されます。

書き込んだデータを消去したくないときは、このプラグを「SAFE」側(書き込み不可)に設定してください。また、プラグを「REC」側(書き込み可能)に設定するとテープに書き込み可能となります。



取り扱い上の注意事項

使用上のご注意

使用する前

- 使用するAITデータカートリッジが、外的損害を受けていたり、または変形したり、曲がっているときは、使用しないでください。
- 装置の使用温湿度条件以外で保管されていたAITデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件以外にあった時間より長く（最大8時間）、使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく、温度変化が1時間に10℃以下になるようにして、AITデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着

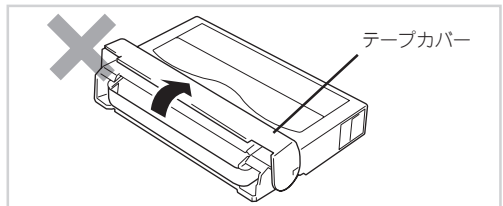
「AITデータカートリッジのセット」での説明に従ってAITデータカートリッジをセットしてください。AITデータカートリッジを取り出した後の保護ケースは、しっかりと閉じ、チリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用した後

使用済みのAITデータカートリッジは、必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

一般的な注意事項

- メモリ端子に手を触れないでください(29ページ参照)。
- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 装置への挿入は、ていねいに行ってください。



使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しいAITデータカートリッジに取り替える必要がありません。

- 落下させるなど強い衝撃を与え、AITデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

重要

この状態でAITデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れやキズに気づかず、新しいAITデータカートリッジを装置に挿入すると、AITデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

AITテープの寿命は、温度・湿度、ヘッドクリーニング回数などによって左右されます。毎日1回使用した場合、使用開始より1年後に交換することをお勧めします。また、1年未満でもエラーが頻繁に発生する場合は、その前に交換をお願いします。

AITデータカートリッジの寿命管理として下記の手順を実施していただくことをお勧めします。

- 新しいAITデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号をAITデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- AITデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、AITデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積もります。
- 定期的にAITデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低いAITデータカートリッジを廃棄します。

また、テープ磁性層は、化学物質で構成されており、時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(温度・湿度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でもテープを購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータの保存について

重要なデータまたはプログラムなどを保存する場合には、万一の場合に備えて、正副2巻に保存することをお勧めします。

こうしておけば、一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータを保存する場合は、保存したデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理は、テープ3巻(A、B、C)を使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAに保存し、2日目はテープBに、3日目はテープCに保存していくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合には、データBを使用してデータを復旧でき、また、テープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

仕 様

本装置の仕様について記載します。

■ 性 能

記憶容量	約100Gバイト～200Gバイト(圧縮時およびEF-2420を4巻使用時)
ビットエラーコード	10 ⁻¹⁷ 以下
データ転送速度(TAPE)	3Mバイト/秒(非圧縮時) 6Mバイト/秒(圧縮時)
バーストデータ転送速度(SCSI)	10Mバイト/秒(最大、非同期) 20Mバイト/秒(最大、同期)
マガジンイン/アウト時間	2.5秒(平均)
カートリッジ交換時間	55秒(平均、SCSI動作時)
巻き戻し時間	80秒未満(170mテープ使用時)

■ 環境条件

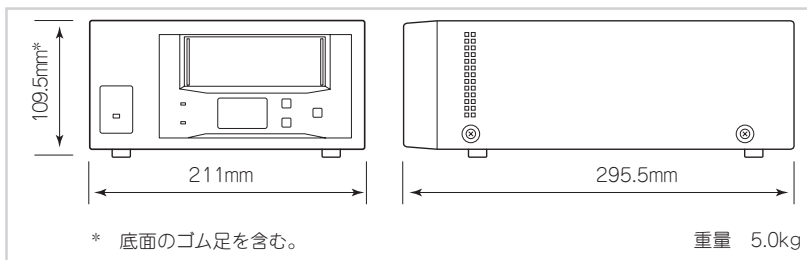
使用時	温度: 5℃～35℃ 湿度: 20%～80%(結露なきこと) 最大湿球温度: 26℃
非動作時	温度: -40℃～70℃ 湿度: 10%～90%(結露なきこと)

■ 電源仕様

電源電圧	AC100～120V	AC200～240V
周波数	50/60Hz	
最大消費電流	0.6A	0.35A

■ 寸法・重量

本体



マガジン	104mm(幅)×36.5mm(高さ)×131.5mm(奥行) 重量 250g
------	--

エラーメッセージ一覧

本装置に何らかのエラーが起きると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されま
す(「Ldr HW Error」が「Drv HW Error」のいずれかが表示されます)。また、エラーメッセー
ジの下には、エラーの内容を示すエラーコードが表示されます。



次にエラーコードとその意味を示します。

エラーコード	意味
E#010100	マガジンのロードエラー。
E#020100	エレベータ（内部部品）の移動エラー。
E#030100	ボトムアーム（内部部品）の移動エラー。
E#030200	
E#030300	
E#040100	ドライブアーム（内部部品）の移動エラー。
E#040200	
E#040300	
E#050100	プッシュアーム（内部部品）の移動エラー。
E#050200	
E#060100	マガジンのスライダの移動不良。
E#060200	
E#070100	マガジンの排出エラー。
E#090100	初期化エラー。
040300xx	ドライブエラー。(周辺デバイスの書き込みエラー)
040900xx	ドライブエラー。(トラック以降のエラー)
041501xx	ドライブエラー。(機構部品による位置決めエラー)
044400xx	ドライブエラー。(内部ターゲット不良)
045200xx	ドライブエラー。(カートリッジ故障)
045300xx	ドライブエラー。(メディアのロード/イジェクトエラー)

xx: 任意のコードが表示されます。

運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
基本処理装置モデル名	
オペレーティングシステム(OS) (名称、バージョン、サービス パック/パッチの適用状況)	
バックアップアプリケーション (名称、バージョン、サービス パック/パッチの適用状況)	
SCSIバス構成 (SCSI ID/同一バス上のデバイ ス)装置設置環境	
装置設置環境 (温度、湿度、ホコリの状況な ど)	
カートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ使 用状況(クリーニング周期、使 用回数や使用開始月の管理方 法などなど)	
カートリッジ使用状況 (使用回数や使用開始月の管理 方法などなど)	
カートリッジの管理状況	

N8560-17
外付AIT集合型取扱説明書

1998年 11月 初版
1999年 11月 第4版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

© NEC Corporation 1999
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行う
ことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。

